

エリザベス英女王死去

96歳、在位最長70年

【ロンドン共同＝植田粧子】英国のエリザベス女王が8日、滞在先の英北部スコットランド・バルモラル城で死去した。英王室が発表した。96歳だった。死因は明らかにされていない。在位期間は70年にわたり英歴代君主として最長。英史上最高齢の君主で、世界の存命する君主の中でも最高齢だった。英国の安定と国民統合の象徴として絶大な人気と尊敬を集めた。長男のチャールズ皇太子(73)が新国王として即位。国家的支柱を失った英国は服喪期間に入り、新たな時代を迎える。



6月、在位70年を祝う行事「プラチナ・ジュビリー」でバッキンガム宮殿から手を振る英国のエリザベス女王＝ロンドン(AP＝共同)

今月6日、バルモラル城でトラス新首相を任命したばかりだった。英王室は8日、女王が医師の管理下にあると発表。医師が同日朝に診察した結果「健康状態を懸念したため」としていた。英ウインザー朝の第4代君主で、カナダやオーストラリアなど英連邦の元首を兼ね、英国教会の最高権威者でもあった。1990年代には故ダイアナ元皇太子妃の離婚や事故死で、王室は廃止論が浮上するほどの危機に見舞われたが、伝統を堅持しつつ身近な王室を目指した改革を進めた。

26年、後の国王ジョージ6世の長女としてロンドンで生まれた。47年にフィリップ殿下と結婚、後に3男1女が誕生した。52年2月、ジョージ6世の病死に伴い25歳で即位した。75年には歴代の英君主として初めて日本を訪問した。2007年12月に英史上最高齢の君主となり、15年9月に在位期間が歴代君主で最長となった。